

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成29年11月2日 (2017.11.2)

【公表番号】特表2016-515228(P2016-515228A)

【公表日】平成28年5月26日 (2016.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2016-032

【出願番号】特願2015-556052(P2015-556052)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 9/50 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 4 1 5

G 0 6 F 9/46 4 6 5 E

G 0 6 F 13/00 5 2 0 B

G 0 6 F 17/30 1 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月20日 (2017.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のフロントエンドサーバにおいて、リアルタイムのユーザ活動に基づくログデータを生成すること、

前記ログデータを少なくとも 1 つの集約サーバに送信すること、

前記ログデータを前記集約サーバにおいて集約すること、

前記少なくとも 1 つの集約サーバにおいて前記ログデータを複数のログデータストリームに分割すること、

前記少なくとも 1 つの集約サーバによって前記ログデータストリームを少なくとも 1 つのバックエンドサーバに並列に供給すること、

を備え、前記ログデータは複数のログデータエントリを含み、各ログデータエントリがアプリケーション識別及びカテゴリフィールドを含み、

前記ログデータの各エントリについて、前記集約サーバによって、前記複数のログデータストリームの合計数であるパケット合計数を法として、前記アプリケーション識別及び前記カテゴリフィールドのハッシュ関数によってパケット番号を計算すること、

前記集約サーバによって、前記パケット番号によって識別されたログデータストリームに前記ログデータのエントリを割り当てること、  
を備える方法。

【請求項 2】

前記分割するステップは、

前記ログデータが複数のログデータストリームに均等に分配されるように前記ログデータをランダムに分割することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

集約された前記ログデータを処理前に一時的に記憶するための集約クラスタ内の中間記憶エリアを表すデータステージングエリアにおいて前記ログデータをステージングするこ

とを更に備える請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ログデータをどのように前記複数のログデータストリームに分割するかに関する命令を前記バックエンドサーバから受信することを更に備える請求項 1 ~ 3 のうちの何れか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記カテゴリフィールドが、前記ログデータエントリの意図された宛先の高レベルの記述を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記アプリケーション識別が、前記ログデータエントリを処理するためのデータ消費アプリケーションを識別する、請求項 1 ~ 5 のうちの何れか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記バケット合計数が、前記ログデータストリームを受信するために利用可能なバックエンドサーバの数及び各バックエンドサーバが扱うことができる接続部の数によって決定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記バックエンドサーバが前記ログデータストリームを受信して処理する場合に、前記バックエンドサーバに等しく負荷がかけられる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記バケット合計数が、少なくとも 1 つのバックエンドサーバで動作するデータ消費アプリケーションによって指示される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記ログデータのエントリの接頭部を検査して、エントリが割り当てられる前記ログデータストリームを決定することを更に備える請求項 1 ~ 9 のうちの何れか一項に記載の方法。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 つの集約サーバのうちの 1 つによって、前記ログデータをデータウェアハウスに送信すること、

前記データウェアハウスが、処理したログデータに基づいてデータ照会に応答することができるように、前記データウェアハウスにおいて前記ログデータを処理すること、  
を更に備える請求項 1 ~ 10 のうちの何れか一項に記載の方法。

【請求項 12】

実行された際に請求項 1 ~ 11 のうちの何れか一項に記載の方法を行うように動作可能なソフトウェアを具現化する 1 つ又は複数のコンピュータ可読非一時的記憶媒体。

【請求項 13】

1 つ又は複数のプロセッサと、

前記プロセッサに結合され、前記プロセッサによって実行可能な命令を含むメモリと、  
を備え、前記プロセッサは、請求項 1 ~ 11 のうちの何れか一項に記載の方法を行うための命令を実行する際に動作可能である、システム。